



## 新一年生に防犯ブザーをプレゼント



▲防犯ブザーを手にする新1年生(松帆小学校)

### 西淡ライオンズクラブ

市内の十七小学校で四月十日、入学式が行われ、新一年生四百三十五人全員に防犯ブザーが配られました。



▲贈られた防犯ブザー

このうち、百六十個は西淡ライオンズクラブ(杉本龍亮会長)から贈られたもので、寄贈は今年で三回目。松帆小学校でもこの日配布され、初々しい児童が、動物をかたどったかわいらしいブザーを持って喜んでいました。

南あわじ市では、近年全国的に増加している子どもを取りまく犯罪の予防などに役立つようにと、毎年配布しています。

## 社会を明るくする運動作文発表会

### コンテスト優秀作品を朗読

犯罪や非行のない明るい社会を作ろうと、南あわじ市保護司会や更生保護女性会らで組織する「社会を明るくする運動」南あわじ市実行委員会が、小・中学生を対象に作文コンテストを昨年七月に実施。市内から四百二十一点の応募が集まり、その中から優秀作品が選ばれました。(十三頁に表彰結果を掲載。)

三月十七日、同コンテストの表彰式と発表会が行われました。

小学生の部最優秀賞の正井真瑠さん(神代小)は「命のたん生」と題した作文の中で、いとこの誕生をきっかけに、赤ちゃんをお世話する母親の苦勞と愛情を目の当たりにし、自分の母親へ「私を産んでくれてありがとう」と感謝の言葉が語られました。



▲作文を朗読する正井真瑠さん

## 沼島案内ボランティアガイド活動中



▲海中に飛び込むだんじりの様子を説明するボランティアガイド

### 沼島地区公民館郷土史部

国生み神話の「おのころ島」として語り伝えられている沼島の魅力を島外の人にも知ってもらおうと沼島地区公民館郷土史部員らが、ボランティアガイド「ぬぼこの会」を結成。この内三人が三月十一日、早速ガイドを行いました。平成十四年に発足した同部は、神宮寺住職の中川宜昭さんを講師に招き、沼島に伝わる神話や物語、植物の生態、自然景観と景勝地、寺社の歴史などを学んでいます。

観光客にも説明できるように同部の二十人が準備、この日は島津晶子さん、恩地典子さん、前川賢子さんが案内役となりました。三人は、広島県からの観光ツアー客九人と神宮寺、八幡宮、上立神岩、伊藤庭園などを二時間かけて巡り、神話の島の魅力を紹介しました。

また、「国生みツアー実務委員会」(鯛弘会長)でも沼島の活性化を図ろうと、NPO法人「淡路島アートセンター」と協力して観光名所への誘導用看板と施設等の紹介用看板を設置しました。

## 児童館が出張教室

子どもたちに、木工を楽しんでもらおうと三月二十四日、南あわじ市児童館が南淡公民館に出張して「おでかけ児童館 春休み工作教室」を開催、十五人が物づくりを体験しました。

### 春休み木工教室を開催

この日は、木材やベニア板を加工した三十種類の部品を組み立て、シーソー形の貯金箱に仕上げます。講師は、南あわじ市福良出身の北野良雄

さん。北野さんは、神戸市在住で、神戸市内の児童館を巡回して木工の楽しさを教えています。最初に犬、猫、小鳥、ペンギンなどの飾り板にマジックインクで着色。続いて、箱の側面と上面を接着、上面に動物の飾りを取り付けて約二時間で完成させました。児童館では、夏休み期間中にも工作教室を計画しています。



▲貯金箱を組み立てる子どもたち

す。問い合わせは、児童館(☎52・3999)まで。

## 観桜会を開催

### 南淡文化協会

桜を楽しみながら芸能発表を楽しんでもらおうと、南淡文化協会(徳田寿春会長)では、4月3日、南淡公民館で「観桜会」を開催しました。賀集公民館アートフラワー教室により、桜の花で装飾された会場では、相撲甚句やフラメンコ、獅子舞、だんじり唄が発表されました。また会場ロビーにも飛騨高山(岐阜県)や二本松城(福島県)など、全国の桜の名所を撮影した写真15点も展示され、来場者の目を楽しませました。



▲場内を沸かせた淡路伝統芸能研究会による獅子舞

## おめでとう

### おはなし会ピノキオに文部科学大臣表彰



▲読み聞かせをするおはなし会ピノキオの皆さん

子ども読書の日の四月二十三日、おはなし会ピノキオ(楓るみ子代表)が、文部科学大臣表彰を受賞しました。

ピノキオは、平成八年から南淡図書館で幼児・児童に読み聞かせや紙芝居、人形劇などを定期的に行い、絵本作家を招いての絵本作り教室にも協力。また読書つまつりには多彩な催しをするなど、日頃からボランティアで、読書を通して子どもへの情操教育に取り

組まれています。

## ひょうご花と緑のコンクール知事賞

三月二十七日、第二十四回ひょうご花と緑のコンクールの表彰式が、県公民館で開かれ、コミュニティ部門で花しようぶ、また学園部門で市立志知幼稚園が県知事賞を受けられました。

このコンクールは、花と緑あふれる県土づくりをめざして、県が活発に緑化運動に取り組まれている団体や個人を表彰するもので、その功績が今回認められたものです。

## 淡路青少年本部長賞

三月二十九日、中川真由美(榎列)さんと柳学園ジャズバンド部に淡路青少年本部長賞が贈られました。

中川さんは、県立志知高校で音楽講師を務めながら、同校の和太鼓「翔」や、社会人で活動している「美鼓音」の指導者として活躍されています。また柳学園ジャズバンド部は年に数回島内の老人施設などをまわり、ボランティア活動を行っています。

## 統合後、はじめての入学式

### 淡路三原高校

県立三原高校と志知高校が統合して誕生した淡路三原高校で、4月9日、開校式と第1回入学式が行われました。

この日、新しい校旗も披露。280人の新入生は、新しい歴史への第1歩を踏み出す高校生活に、期待と想いを馳せていました。今後淡路三原高校生は、三原高校の2、3年生と同じ校舎を利用します。また志知高校の在校生は、現在の学校で学び、両校とも平成21年3月に卒業生を送り出して閉校します。



▲新しい校章入りの校旗を披露